

『レストラン紹介』 第36回

TABERNA FOME DO CÃO (タベルナ フォーミ ド カン)

6月14日、Dom Pedro 地区のレストラン「TABERNA FOME DO CÃO」に行ってきました。

レストラン、理髪店、TATTOO スタジオ、カフェが一家所に集まったところで、理髪店とTATTOOの看板が目立っているため、外から見ると判りにくいのですが、理髪店の横を通って中に入るとアメリカンスタイルの内装が整えられたレストランになっています。



オーナーシェフである Daniel さんによると、4年前に弟さんと一緒に Cachoerinha 地区で理髪店を始め、2年前に現在の場所に移転、オーナーの友人達が同じ場所で TATTOO スタジオやカフェを始め2か月前にリフォームして現在の形態になったとのこと。Daniel さんはイタリアで料理の修業をし、「気取らずにいいものを」をコンセプトに高級料理店で出されるような料理が手ごろな値段で提供されており、特にランチ時には混雑する人気店となっているようです。



Daniel さんはじめ他店のオーナー達も刺青を入れハーレーに乗った一見コワモテ風の方達ですが、話してみるとフランクで、店内には子供連れの客もいて安心して利用できる雰囲気です。

さて、気になるメニューの方ですが、まずは生ビール！と思って頼んだらメニューには生ビールがなく、理髪店を出している Rio Negro 生ビール (500ml R\$ 12) を持ってきてくれました。気を取り直して前菜の TRIO TERNURA(手作りソーセージ、鳥の心臓、チーズの3種盛 R\$ 40)と AFOGADO DE CUPIM(牛のこぶ肉とマンジョッカピューレ R\$ 30)からスタート。手作りソーセージは少々固めでしたが鳥の心臓は他で食べるのとは違った味付けでおいしかったです。



TRIO TERNURA



AFOGADO DE CUPIM

CUPIM は非常に柔らかく、ソース、マンジョッカピューレと絡み合って絶妙な味わいで、シュハスカリアで出てくる CUPIM とはまた違ってジューシーな味わいでおススメです。

メインディッシュは SPAGHETTI Á MODA DO CÃO(R\$ 50)、GNOCCHI AO SUGO(R\$ 40)、COSTELINHA(R\$ 45)、CAMARÃO AO LIVORNO(R\$ 85)、BOI NO SOL(R\$ 40)の5品を頼みました。



SPAGUETI Á MODA DO CÃO



GNOCCHI AO SUGO



COSTELINHA



CAMARÃO AO LIVORNO



BOI NO SOL

● SPAGHETTI Á MODA DO CÃO

スパゲッティといいながら写真のようにコントラフィレと一緒に出てきていったいどっちが主役なんだ？という気がしますがパスタはこちらでよくある茹ですぎのものではなく、肉の硬さも適度でどちらもおいしい一品に仕上がっています。

● GNOCCHI AO SUGO

ニョッキのトマトソースですが少しやわらかめのニョッキでした。

● COSTELINHA

豚のアバラ肉にご飯、ファロッフア、ジャガイモがついてくる盛りだくさんの一品でアバラ肉はやわらかくで食べやすい一品でした。

● CAMARÃO AO LIVORNO

大ぶりのエビがたっぷり入っているために他とくらべると高価ではありますが、ぷりぷりのエビのトマトソーススパゲッティで安定のおいしさ、といった一品。

● BOI NO SOL

干し肉、Baião、マカシェイラピューレのセットでこちらも盛りだくさん。干し肉は塩味控えめで塩辛いのが苦手な人でも大丈夫。

仕上げにデザートに MOUSSE DE CHOCOLATE(R\$ 20)を頼んだのですが、おしゃれにお皿に盛りつけられ、甘さも控えめで、市販のカップのムースは甘すぎて食べきれない私もおいしく食べられました。



MOUSE DE CHOCOLATE

大人5人で上記の料理+ビール12杯+カクテル1杯でR\$ 467。これにサービス料10%と理髪店の生ビール5杯を足しても一人R\$ 115くらい。高級料理店と比べても遜色ない料理がドレスコードを気にせず気軽にお手軽な価格で食べられるという謳い文句に偽りはありませんでした。散髪ついで行ってみるのもいいかもしれません。



<FOME DO CÃO>



住所：Av. Pedro Teixeira, 351 – Dom Pedro, 69040-000

電話：(92) 3213-8520

営業時間： 月曜～土曜 12:00～15:00、19:00～23:00

日曜定休

※ 駐車場はなく、路上駐車となります

文責：広報企画委員会 安田